

親子遠足の感想 part I 「アクアマリンふくしま」

聖愛

九月号

原町聖愛保育園

二〇〇七年九月一日発行

保育園の鈴虫も鳴き始め、子どもたちは飼育ケースの近くに寄って耳を澄ませています。夏の間に、保育で川や海に出かけ、実にイキイキと遊んで楽しい体験をした子どもたち。その経験を、保育の遊びで活かし、運動会の競技にもつなげていきたいと考えています。

★遠足、お世話になりました。子どもたちは、とても楽しい思い出として心に残った一日だったと思います。先生方には計画から諸準備まで、本当に大変だったのではないのでしょうか。ありがとうございます。K

★家族で楽しい時間を過ごせました。ヒトデに触るのが初めてで、娘はとても喜んでいました。H

★親子遠足とても楽しかったです。息子も「アクアマリン楽しかったねえ」と何度も言っていました。次は家族で行ってみたいと思います。H

★「ぼく、あんな大きいバスに乗って、お出かけたのはじめて。また行きたいなあ。」夜ねむりにつく前の、息子の言葉です。本当にとっても楽しかったらしく、満足した顔をしていました。親もいろいろな生き物を見たり触ったりと、とても貴重な体験をすることができました。本当にありがとうございます。B

★遠足ではお世話になりました。息子も本当に楽しかったようで、家では見る事のできないお友達との行動や会話を聞くことができ、私も一日楽しい時間を過ごしました。T

★息子にとつて初の遠足。とても楽しく過ごせようです。ビーチで走り回り、砂の上でごろごろしたり、波が来るのを楽しんだり、ケガなく遊ぶことができました。近いうちに、お姉ちゃん、お兄ちゃんと一緒にまた遊びに連れて行きたいと思いました。S

★帰ってから、「バスに乗った」って大喜びでした。泳ぐ魚を見たり、ウニやナマコに触れていい経験ができたと思います。M

★楽しい一日を過ごしました。パパは「来年も参加するぞお〜」と言っていました。娘は水を怖がることもなく大はしゃぎ。最後にハプニングもありましたが、参加できてよかったです。S

★とても楽しく一日を過ごしました。息子は水が怖いらしく、なかなか入ってくれませんでした。次の日、「ジャバジャバしに行く？」と聞くと「もう行った、行った」二回行ったからもういいよ〜だそうです。S

★久しぶりに娘とゆつくり、楽しい時間を過ごすことができました。W

9月の保育目標

主題 0・1・2歳児「できた」 3・4・5歳児「みて みて」
暗唱聖句 「わたしは必ずあなたと共にいる。」 出エジプト3章12節



年齢	保育目標	保育内容	保育者の配慮
0歳児	◎保育者と一緒に体を使って遊ぶことを楽しむ。	・登る、くぐる、またぐ、しゃがむ、押す ・砂遊び・散歩 ・新聞紙遊び(にぎる、つかむ)	・一人ひとりの発達に合わせて、体の動きを促せるよう遊びに誘い、一緒に楽しみながら行えるようにする。 ・夏の疲れが出やすいので、時間の配分を考え休息を十分にとる。 ・木陰などで過ごし、心地よさを感じる。
1歳児	◎体を沢山動かして、面白さを感じる。	・散歩(歩く、登る、かくれる) ・魚つりごっこ ・追いかっこ、しっぽとり	・追いかっこなどに誘い、一箇所に留まることなく、広い場所を利用しながら手足を十分に動かして遊べるように、保育者自身が動いて見せて遊びたい気持ちを引き出せるようにする。 ・自分でやりたいように遊ぶことができ、さらに思いついたことをやってみることが出来るように状況に応じて介助する。
2歳児	◎やってみることに挑戦してみる。	・はじき絵 ・しゃぼん玉 ・かけっこ ・鬼ごっこ、しっぽとり ・曲に合わせて体を動かす	・「できた」という達成感や満足感を感じられるよう、励ましなどの声かけや遊びの誘いかけを工夫し、出来た時の喜びを共感する。 ・体を動かすことが、「おもしろい」「またやりたい」という気持ちが持てるように遊びに配慮し、行動を気を付けて見る。
3歳児 なみ	◎一つの遊びを友だちと楽しみ、その中で関わりを深める。	<室内遊び> ・木のペンダント(3歳児)※1 ・海草でオブジェ作り(4・5歳児)※5 ・染色(5歳児)	・色の鮮やかさを感じ取れるように、保育者も援助しながら、出来上がりを期待できるようにする。 ※1 ・友だちと一緒にすることが楽しく、自分から様々な遊びに挑戦し、頑張ることが出来るように励ます。友だちの姿をみて自分もやってみる。 ※4
4歳児 ほし	◎友だちとの交わりを広げ、協調し合っ て遊ぶ。	・敬老カードづくり(5歳児) ・運動会で使う物製作 ・鼓笛隊 ※3 ・布を使ってボールキャッチ(3歳児)	・友だちや年上児の刺激を受け、自ら動き出せるよう励まし頑張りを認め、達成感や満足感を得られるようにする。 ※2 ※5 ・友だちと力を合わせて行う面白さや、楽しさが気づけるよう相手の話に耳を傾け、強調しあって遊ぶ楽しさを気づけるようにする。 ※4
5歳児 つき	◎自分の力を発揮しながら、友だちと共通の目的に向かって意欲的に取り組む。	<戸外遊び> ・登り棒(3歳児) ・リレー、かけっこ ※2 ・運動会競技 ※4	・目的に向かって取り組む力が出るよう、一緒にやって「できる」という達成感をひとり一人が持つことが出来るようにし、自信につなげる。 ・問題が出た時は、自分たちで考え、話し合っ て解決出来るように見守る。また、やりだした こと、やるべきことを最後まで行えるよう援助する。 ※4

親子遠足の感想
Part II

★アクアマリンお世話になりました。とつても楽しかったですね。またいきたいです。F
★家族4人楽しませていただきました。F
★ケガもなく楽しんでよかったです。I
★えんそくではお世話になりました。とても楽しんできたようで、家に帰ってからもご機嫌でした。S

★とつても楽しかったです。バスの中は飽きないかと心配でしたが、ゲームをしたり友達と話したり、楽しく行けました。ビーチではパパに海に投げられ泣いていました。H

★親子で初めての、アクアマリンふくしまをめぐりつばい楽しみました。お友達とはしゃぐ姿や静かに祈りする姿（○○くん、○○ちゃん！）と嬉しそうに手を振る姿…。家では見られない面をたくさん見せてくれて、とても幸せな一日でした。バスの中の過ごし方も、あきない工夫がたくさんあり、先生方には本当におつかれ様でした。これからどんどん暑くなりますが、今度は園庭にドーンとボールが出現するのを親子で楽しみにしています。Y



★想像通り、喜んで泳いでいる息子を見て嬉しかったです。親子で楽しい日となりました。ありがとうございます。Y

★アクアマリンとても楽しかったようで、「また行きたい」と、息子は話していました。ナマコやヒトデ、アメフラシには触れずに、逃げまわっていました。息子以上に、私も楽しませていただきました。J

★父子共にお世話になりました。泣いたり喜んだり本人は複雑な心境のようでしたが、夕方にはぐっすり眠ってしまいました。きつとたくさん遊んだんだな、と思いました。日曜日は早速、お父さんと二人で海に出かけ、海草を取ったり、釣りをしている人に魚をもらったり、と楽しんできました。M

★遠足では大変お世話になりました。普段は、気の強い方だと思っていました。やどかりやひとでに触れずに、怖い怖いと言っていました。でも、興味を持って、これは何とよく観察していました。ハプニングありましたが、すごく嬉しそうに楽しんでいました。ありがとうございます。E



<9月の予定>

日(曜日)	園の予定	職員の予定
1(土)	中山先生自然教室	
4(火)	合同礼拝(ほし・つき)	聖書研究 めぐみの会
5(水)	ぎょう虫卵検査 子育てサークル(レインボー)	職員会議
6(木)	小人さんの音楽会	構造化会議 キ保連役員会
7(金)	しゃりん梅訪問(ほし) 久米本先生 来園	
8(土)		キ保連新人研修(郡山)
11(火)	避難訓練	聖書研究 タラントの会
12(水)	子育てサークル(プーさん)	マネージャー会議
13(木)		ほれん会議
14(金)	久米本先生 来園	
19(水)	運動会総合練習①	ケース会議
20(木)	ポップコーン	園内研修
21(金)	運動会総合練習②	運動会話し合い
23(日)	秋分の日	
24(月)	振り替え休日(休園)	
25(火)	お月見お楽しみ会	
26(水)		給食会議
27(木)	小人さんの音楽会	運動会最終打ち合わせ
28(金)	運動会総合練習③	ちるいは会理事会

<2007年度運動会>

・日時 2007年10月6日(土) 9:00~
・場所 原町第二小学校 体育館
・運動会のテーマ 「川と海」 ~つながる・広がる・深い~

- ・親子遠足 アクアマリンふくしまでは、ビーチで波と戯れながらナマコやアメフラシを観察。また、館内では、海の生き物を間近で見て、刺激を受けてきました。
- ・夏祭り プールでいかだに乗っての貝拾い。バランスが命で迫力満点。砂場でのフラダンスショーでは、ちょっぴり南国気分を味わえました。
- ・保育 海に出掛けて遊んだ後の、貝殻アートや絵画は、想像力が広がり製作にも集中。年少クラスも水遊びを沢山楽しみました。

一運動会ではこれらの体験を活かし、競技の中で表現します。一

※競技内容等については、後日お知らせいたします。
ご家族の方々、地域の方々に参加できる種目もあります。
※運動会総合練習日 園庭(雨天時 ホール)
・9/19・21・28、10/4 9時から開始
○安全のために、足に合った靴を履かせて下さい。

総合練習は、日頃の体験や経験を発揮し、運動会へ向けて一人ひとりが気持ちを高めることを目的とし、一緒に作りあげることを大切にします。



原体験を豊かなものにするためには

日本の子どもの遊び環境は、大きく変化しようとしている。あそびの空間が限界まで小さくなり、子どもたちはかつての原っぱのような、虫とりができ、木登りをし、缶けりや鬼ごっこが出来るような総合的な空間を失っている。子どもの遊び文化という側面からいえば、テレビゲームによる遊びが進行している。「あそびは創造力を開発する」といわれている。子ども時代は、個性に最も影響する時代、体験の重要な時代である。
子どもとあそび 仙田 満 著より

体を使った体験(原体験)は、大人になっても記憶の中に残されていきます。自然は、虫などの生き物を通して生命の尊さを教え、作物の恵みが私たちの生活を支えてくれていることを教えてくれます。そうした意味でも、自然の中で様々な直接体験をすることが、心の成長に大きく影響を与えます。まずは自然の中に出かけて見ましょう。お父さん、お母さん、自分の原体験を思い出して、お子さんと森や川などで楽しんでください。

中学生が保育の現場で学びます

総合教育の一環として、実施されます。生徒たちは、職場体験を通して社会の現場や福祉に関する理解を深めるために学びます。
・石神中学校 9月13日~9月14日
・原町第一中学校 10月2日~10月4日

お月見お楽しみ会

9月25日(火)

十五夜は、「仲秋の名月」とも呼ばれています。保育園でも、すすきやお団子を飾り、神様が下さった自然の恵みに感謝します。お楽しみ会では由来について知り、楽しいひとときを過ごします。

日程 礼 拝 9:30~ 内容 ペープサート、
お月見会 9:45~ 手遊び、うた

十五夜とは・・・

起源は、月は欠けては満ちることにちなみ、ものの結果したことに感謝するお祝いの儀式でした。また、生命の満ち欠けへの連想から、自分に生命を繋いで下さった先祖の霊を忍ぶ日でもありました。十五夜には、「十五」にちなみ、十五個の団子をお供えます。地方では、団子の代わりに、畑でとれた芋などを供えることもあるので、「芋名月」とも呼ばれています。



お知らせ・お願い

◎10月1日より衣替え・室内履き交換
<園服> 半袖→長袖

※名前の記入、サイズをご確認下さい。
※衣類も秋物へ交換して下さい。

<室内履き> ビーチサンダルから通常のシューズに替わります。シューズはサイズを確認して、足に合った物をお願いします。

◎今月の午睡用タオルケット類の持ち帰り
9月7日(金)、21日(金)になります。洗濯をお願いします。